科目名	プロフェッショナルへの道Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	村上　礼奈
		授業形態	講義			
（英）	Career　Development　Ⅲ	時間数	30		開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	火曜1限

講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティーアドバイザーとして都内百貨店に勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。
目的 科目概要	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸや個人ﾜｰｸでの自己分析、ﾁｰﾑで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【ﾁｰﾑで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点Ａ（4.0）、89点～80点Ｂ（3.0）、79点～70点Ｃ（2.0）、69点～60点Ｄ（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。
教材	スケジュール帳・筆記用具		
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身につけましょう）		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	TB科の5つのルール インターネットマナーについて	TB科の5つのルールを確認し、意識付けをする。 インターネットマナーを学び、ITリテラシーについて再度確認する。
2	個人とクラスの目標	目標についてどのように取り組むか、自分たちで決める。
3	就職対策①	就職活動の基礎を知り、希望就職先を見つけることが出来る。
4	就職対策②	履歴書の重要性を知り、ライバルに勝てる履歴書が書けるようになる。
5	就職対策③	面接の基本やポイントを知り、面接で自信を持てるようになる
6	就職対策④	模擬面接をチームで行う。
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材を求めているか』を考えてまとめる　800文字以内
8	グループワーク	グループディスカションで社会人基礎力【考える力】を身につける
9	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置を学ぶ。 どうすれば印象に残せるか学ぶ。 【例】美容業界で働くために必要なことは何か考える。
10	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語を正しく学ぶ。
11	社会人基礎力を身につける②	伝える力を学ぶ。絵を見て覚え、他の仲間に言葉だけで覚えた絵を伝えることができるか。
12	グループワーク	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける 【例】鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
14	定期試験	社会に出ていくために必要なことについてまとめる。800文字以内
15	定期試験の振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名	サロンワークⅠ	年次	2	実務経験	担当	浅野　景子
		授業形態	演習			
（英）	Salon　Work　Ⅰ	時間数	150	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	10		曜日・時間	火2・3・4限、水3・4限

講師紹介	化粧品カウンターの責任者として、ビューティカウンセリング・アドバイスを主とした接客接遇と部下育成に貢献した経験を活かし、美容総合インストラクターとして専門教育を行っています。ビューティアドバイザー、メイクアップアーティストを目指す皆さんにサロンでの接客接遇の基礎をお伝えします。
目的 科目概要	目的:ビューティトレーニングランドサロンの立ち上げプランニングを行い、オープンしたサロンでプロとしての接客接遇、知識と技術を修得する。 概要:この科目では一般のお客様をおもてなしできるメイクアップサロン、またはオンラインセミナー開設に向けてチームワークや協調性を発揮する。また、接客技術、カウンセリング力、及びメイクアップ技術を向上する。サロン業務での問題解決や対策をチームのメンバー全員で協力し合い臨機応変に行うことを学ぶ。エビデンスに基づいたスキンケアアドバイスができるための知識を学び資格を得る。
到達目標	お客様が満足できるビューティトレーニングランドメイクアップサロンのプランニングができる。 化粧品を扱う業界での接客接遇マナーである言葉づかい、表情、態度、立ち居振る舞いを修得する。 オンラインセミナーを立ち上げるプランニングができる。 プロとして通用するメイクアップ技術を修得し、日本コスメティック協会コスメマイスター検定に合格する。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書	日本コスメティック協会検定テキストコスメQ＆A	事前事後学習とその内容	ビューティトレーニングランドサロンとしてふさわしい会話ができるよう、日常でも正しく敬語を使い分けて話す。ブランド問わず多くの化粧品情報を自ら興味を持ち情報収集しスキンケアアドバイスやメイクアップアドバイスに活用することが望ましい。。カウンセリング＆アドバイス対策は受講する範囲を事前に読み、練習問題や模擬問題に取り組めるようにしてほしい。
教材			
特記事項	メンバー全員で、報告、連絡、相談を徹底し、サロンワークの業務は全員で共有する。授業内容を日別に必ず記録しておくこと。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	ビューティトレーニングランドサロンオープンの目的と概要を理解する。 グループ組織と役割、リーダーを決定する。 店名、コンセプト、ターゲット、イメージを決定する。
2	カウンセリング＆アドバイス対策① プランニング②	検定テキスト「化粧品って何？」Q1～11問題を解く。 サロン内装、インテリア、レイアウト、ドレスコードを決定する。 ターゲットとコンセプトに合ったメニューを決定する。
3	カウンセリング＆アドバイス対策② プランニング③	検定テキスト「化粧品って何？」Q12～22問題を解く。 チラシ、ポスター、メニュー表、POPを作成する。 サロンオープンに必要な使用商材を決定し購入する。
4	カウンセリング＆アドバイス対策③ プランニング④・サロンオープン演習	検定テキスト「化粧品って何？」Q23～33問題を解く。 プランニングで決定したサロン作り、お客様のお迎え、カウンセリング、スキンケア診断、メイクアップ、お送りのリハーサルを行い、改善点や変更点を洗い出す。
5	カウンセリング＆アドバイス対策④ プランニング⑤	検定テキスト「化粧品って何？」Q34～42問題を解く。 演習を振り返り、プランニング内容を見直し改善点と変更点の対策を決定する。 東京ベルエポック美容ホームページ掲載の原稿を作成し、提出を行う。
6	カウンセリング＆アドバイス対策⑤ プランニング⑥・オンラインセミナープランニング①	検定テキスト「化粧品を正しく理解するために」Q43～54問題を解く。 プランニング内容の改善点と変更点の対策を決定し実行する。 オンラインセミナー開設に向けてのプランニングを行う。
7	カウンセリング＆アドバイス対策⑥ プレオープン振り返り・中間試験 オンラインセミナープランニング②	検定テキスト「化粧品を正しく理解するために」Q55～66問題を解く。 中間試験はプランニング①～⑥を前向きに取り組み理解しているか確認する。 オンラインセミナー開設に向けてのプランニングを行う。
8	カウンセリング＆アドバイス対策⑦ プレオープン①・オンラインセミナープランニング③	検定テキスト「化粧品を正しく理解するために」Q67～80（Q68Q72除く）問題を解く。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナー開設に向けてのプランニングを行う。
9	カウンセリング＆アドバイス対策⑧ プレオープン振り返り	検定テキスト「自分の肌を知ろう」Q81～99（Q89～96除く）問題を解く。 プレオープンを振り返りグランドオープンに向けて準備を行う。
10	カウンセリング＆アドバイス対策⑨ グランドオープン①・オンラインセミナー演習	検定テキスト「自分の肌を知ろう」Q100～117（Q102Q103Q111Q112除く）問題を解く。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナーの演習を行う。
11	カウンセリング＆アドバイス対策⑩ サロンオープン②・オンラインセミナー演習振り返り	検定テキスト「自分の肌を知ろう」Q118～133（Q126、Q128～131除く）問題を解く。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナー演習を振り返り、改善点や変更点を洗い出す。
12	カウンセリング＆アドバイス対策⑪ サロンオープン③・オンラインセミナー演習	コスメマイスター検定模擬試験を行う。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナー演習の改善点や変更点の対策を実行した演習を行う。
13	カウンセリング＆アドバイス対策⑫ サロンオープン④ オンラインセミナープランニング④	コスメマイスター検定模擬試験を行う。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナー開設の広告、チラシ、ポスターを作成する。
14	日本コスメティック協会検定コスメマイスター試験 サロンオープン⑤ オンラインセミナープランニング⑤	コスメマイスター検定試験を行う。 レイアウト、化粧品セッティング、接客接遇、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。 オンラインセミナー開設の東京ベルエポック美容ホームページ掲載原稿を作成する。
15	期末試験	サロンプランニングからオープンまでとオンラインセミナー開設準備を振り返り、日別に業務内容をレポートし、自己評価を行う。また、後期に向けさらに修得する点を明確にし、計画や目標を立てる。

科目名	スキンケアカウンセリングⅡ	年次	2	実務経験	担当	齊藤　朋子
		授業形態	講義・演習			
（英）	Skin Care Counseling Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	木3・4限

講師紹介	国内大手化粧品会社でBA、海外派遣、メイクアップアドバイザー等経験後、施策担任として社内外のセミナーや社員教育に携わる。現在はエステサロンオーナー兼現役エステティシャンとして活動中。お客様に寄り添ったスキンケアカウンセリングを意識した講義・演習を目指しています。
目的 科目概要	目的：「知識力」「聞く力」「提案力」「応対力」を身に着けることで、お客様のニーズに合わせたスキンケアカウンセリングを目指す。 概要：スキンタイプ別、悩み別の肌の状態と原因を理解し、スキンケアカウンセリングに活かす「聞く」技術を習得する。1年生で学んだ知識を活かし、接遇を意識しながらロールプレイ中心に演習を行う。
到達目標	肌質・お客様の肌のお悩みやご要望を聞き出し、個々の肌質及び肌悩み別に合わせたスキンケアカウンセリングができる。 表情・言葉遣い・所作を意識しながらお客様に寄り添う応対ができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	1年生で学んだ「スキンケアカウンセリングⅠ」を復習しておくことが望ましい。目指している化粧品ブランドや気になるブランドの接客を体験しておくと今後の活動がイメージできる。
教材			
特記事項	授業内で配布したプリント、資料や自分で収集したパンフレットや資料を持参して受講する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアカウンセリングに必要な4つの力 皮膚の基礎知識の復習とロールプレイ	「知識力」「聞く力」「提案力」「応対力」について考える。スキンケアアイテムなどの扱い方を身につける。皮膚の断面図を使用して健康な皮膚の状態を説明できる。
2	健康な肌とは 季節と肌（春）と敏感肌について	健康な肌の復習後ロールプレイ。季節による肌の変化と敏感肌について理解する。　お客様の肌質を確認するために何をどのように聞くのがよいかを考え、練習する。
3	ドライスキンカウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	ドライスキンの肌の状態を説明でき、原因→対策が説明できる。
4	オイリースキンカウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	オイリースキンの肌の状態を説明でき、原因→対策が説明できる。
5	コンビネーションスキンカウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	コンビネーションスキンの肌の状態を説明でき、原因→対策が説明できる。
6	スキンタイプ別カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	肌タイプ別に肌の状態を説明でき、原因→対策が説明できる。
7	中間試験	ドライスキン・オイリースキン・コンビネーションスキンの肌の状態を説明でき、原因と対策が説明できるか。春の肌を理解しているかを確認する。
8	健康な肌とダメージを受けた肌 季節と肌（夏）	健康な肌とダメージを受けた肌の違いを皮膚の断面図を使用して説明できる。季節と肌の変化を理解する。次回から使用するカウンセリングシートの使い方を学ぶ。
9	シミ対策カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	シミの原因とメカニズムを知る。カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。シミの状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
10	くすみ対策カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	くすみの種類と原因を知る。カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。くすみの状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
11	ニキビ・ニキビ跡対策カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	様々なニキビの原因を知る。カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。ニキビ・ニキビ跡の状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
12	毛穴対策カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	皮脂による毛穴の開きと、たるみによる毛穴の違いを理解する。カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。毛穴の状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
13	シワ・たるみ対策カウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	表皮性のシワと真皮性のシワの違いを理解する。カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。シワ・たるみの状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
14	悩み別スキンケアカウンセリング＆アドバイス ロールプレイ	カウンセリングシートを利用して肌の悩みを知る。シミの状態を説明でき、原因と対策をアドバイスできる。
15	期末試験	悩み別の肌の状態が説明でき、原因と対策をアドバイスできるか、夏の肌を理解できているかを確認する。

科目名	ビューティーメイクⅡ	年次	2	実務経験	担当	原口和也
		授業形態	演習			
（英）	Beauty Make UpⅡ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科MU専攻	単位	4		曜日・時間	月3.4限

講師紹介	M・A・C、C・Dior、メイクベリンに勤務後ヘアメイクスクール講師兼ヘアメイクに転身。多くの百貨店、化粧品ブランドでのアーティスト業、トレーナーとして活動。
目的 科目概要	目的;ビューティーアドバイザーに必要なアイテム知識とタッチアップ技術を学ぶ。科目概要:BAの店頭におけるタッチアップ技術力や提案力を身につける。
到達目標	BAの店頭を意識したタッチアップ知識・技術を向上させる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	メイクの工程やプロセスを次回授業でも復習できるように毎回ノートをとること。
教材	学校指定のメイクアップ教材		
特記事項	メイク前にメイク道具をセッティングしておく。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・顔型診断を活かしてのセルフメイク	次回課題:悩みに合わせた下地、ファンデーションを調べてくる
2	ベースメイクアイテムの紹介とタッチアップ	調べてきた下地、ファンデーションの情報をグループワークでシェア後、好みに合わせたベースメイクを紹介しあう。カウンセリングからのベースメイクタッチアップ
3	アイブロウをレクチャーしながらのタッチアップ	カウンセリングから眉のタッチアップを行い眉の描き方をレクチャー。
4	アイメイクパレットの使い方提案	教材の中から4色を講師が指定し、4色パレットに見立てる。その4色パレットの様々な使い方を考える。その後、カウンセリングから上記パレットに見立てたアイシャドウのタッチアップ、使い方レクチャー。
5	リップの色選び方法とタッチアップ、リップに合わせたチークの提案	お客様役に好みのリップカラーを聞き出し、手元に色を出して好みの1色を絞り込む。その後タッチアップ。チークはリップカラーに合わせてこちらから提案し、お客様が気になった色をタッチアップ。
6	中間試験対策	中間試験の内容を実践する。
7	中間試験	アイシャドウを買いに来たお客様へのカウンセリングとタッチアップを30分以内で行う。時間内にアイシャドウに＋して最低2品紹介。
8	課題解決	中間試験の結果を踏まえて、苦手項目の見直し、技術指導。
9	スキンケア商品の成分構成	スキンケア商品の構成を学び、講師指定商品の分析を行う。次回課題:お題に合わせた商品を調べてくる。
10	グループワークでの課題発表	課題をグループワークで発表し、情報をシェア。グループ内で商品プレゼンが魅力的だった生徒は全体に発表。
11	肌悩みの原因と対策	肌悩みの原因と対策、どのような商品・成分が効果的かを学ぶ。
12	提案メイク	お客様の顔を分析し、技術者（アーティスト）の視点でお客様を引き立てるメイクを提案しフルメイクを行う。
13	接客メイク	お客様の好み、要望、使用制限などを考慮し、お客様の好み＋技術者の提案を踏まえたフルメイクを行う。
14	定期試験　課題練習	定期試験の模擬試験/フルメイクをタイムを計って練習。
15	定期試験	お客様の好み要望を踏まえながら、お客様を引き立てるメイクを行う。カウンセリング10分、フルメイク30分。

科目名	ヘアメイクⅢ	年次	2	実務経験	担当	あんずちゃん
		授業形態	実技			
（英）	Hair&Makeup Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	金1,2限

講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事を多くこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。
目的 科目概要	メイクを施術するにあたり、ヘアも合わせて提案できるとお客様の信頼を得られる他、様々なジャンルの美容の仕事でトータルでコーディネート出来るようになる。
到達目標	ヘアの基本技術を習得し、ベーシックカジュアルスタイルが作れるようになる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	なし	事前事後 学習と その内容	授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。
教材	ヘア道具一式		
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ストレートアイロン	ストレートアイロンのプロセスを覚える
2	コテ巻き	内巻き、外巻き、ミックス巻きを覚える
3	ピニング	基本の5点どめのプロセス、強度のある仕上がりを目指す
4	ツイストハーフ、ツイスト	ツイスト練習を行い、ハーフスタイスが作れるようになる
5	ゴム一束	基本のゴム結びを覚えて、ポニーテールのアレンジを覚える。
6	ルーズアップ	アイモデルにてルーズのアップを作れるようになる
7	定期試験ルーズアップ25分	定期試験練習後、定期試験
8	編み込み	裏編み、表編み、カチューシャの編み方を覚える
9	編み込みアップ	編み込みのアップスタイルを作る
10	あみおろし	編み込み夜ツイストを使い編みおろしスタイルを作ることができる
11	お団子スタイル	プロセスを学びお団子スタイルを作る
12	逆毛	逆毛の基本技術を学ぶ
13	ローポニー	ローポニーの基本構成を覚え美しく仕上げる
14	ローポニー	定期試験に向けローポニーの仕上がりを強化する
15	定期試験ローポニー30分	定期試験練習後、定期試験

科目名	メイクアップⅢ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
（英）	Make up Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	水1・2限

講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここでは幅広いメイクアップ表現を身につけるための技術を習得する授業を行います。
目的 科目概要	目的：様々な価値観や個性を理解するために、多様なメイクアップ表現を体感し、幅広いメイクアップ表現ができるビューティアドバイザーを目指す。 科目概要：この科目は特殊メイク、舞台メイク、キャラクターメイクなど、アンナチュラルなメイクを学ぶことで、ナチュラルメイクの表現の幅を広げたり、ナチュラルメイクのテクニックを格段に向上させる学習効果を狙った内容になっている。
到達目標	アンナチュラルかつ高度なメイクテクニックを身につけ、最終的にはナチュラルメイクの技術レベル、表現力が大幅に向上する。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	毎回テーマの即した画像・動画など共有します。	事前事後学習とその内容	メイクの内容を思い切り大胆に楽しんで授業参加してほしい。また事前にテーマに関する画像検索や作り方の動画の研究がされていると、よりスムーズに内容が理解できる。
教材	学校指定のメイク教材・学校の共有教材		
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題の提出をしていただきます。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	老けメイク	くすみ　シミ　小ジワ　大ジワ　たるみ　コケ　白髪　など老化をメイクで再現する
2	特殊メイク	アザ3種　火傷3種　傷3種　リアルに表現する
3	死人／縫合メイク	死後10時間程度の死人の顔の表現／糸や紐を使用した縫合したかのように見えるメイク
4	ゾンビメイク	老け　痣　火傷　傷　死人　縫合メイクの応用でゾンビを表現する
5	タトゥメイク	洋風の刺青を再現する
6	ズレメイク	顔が切れてずれたように見えるフェイクメイクを表現する
7	中間試験	時間内（50分）でスカルメイクができる【配点20点】
8	アメコミメイク	メイクでアメリカンコミック風の顔立ちを表現する
9	ハーフ＆ハーフメイク	ひとつの顔に半顔男性と半顔女性の横顔を表現する
10	デカパーツメイク	眉・目・唇のパーツをを出来る限り大きく表現する
11	宝塚メイク	宝塚特融のメイク表現で姫役を再現する
12	キャッツメイク	劇団四季の『キャッツ』のキャラクターを再現する
13	スカルメイク	半顔に頭蓋骨骨格を表現する
14	メデューサメイク	メデューサ（蛇女）のキャラクターを再現する
15	定期試験	時間内（50分）でメデューサメイクができる【配点50点】

科目名	サロンワークⅠ	年次	2	実務経験	担当	服部　幸子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Salon　Work　Ⅰ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	4		曜日・時間	月1・2限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	サロンなどで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行う。又、店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか等を理解してほしい。 開店、集客、接客、お見送り、アフターフ
到達目標	サロン運営を通して、整理整頓を進んで行う事が出来る。 接客マナーやスタッフ間のチームワークでの協調性を身につけることができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■　実技試験　　□　作品

教科書	プリント（補助教材）随時配布	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンワーク概要	【授業形態】講義 【到達目標】サロンを運営するにあたっての準備事項を理解し、サロンワークの流れ・プロとしての姿勢を 学ぶ。
2	プランニング②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グループワークでどんなサロンにしたいのかを考える。テーマ（店名）、コンセプト、イメージ、 メニュー、インテリア
3	プランニング④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】各種フライヤー、承諾書等の作成。 セッティング、お迎えからお帰りまでのお客様誘導、動線シミュレーション 【履修確認】 小テスト2点
4	プランニング⑤	【授業形態】講義・実習 【到達目標】アートサンプルを考え、作成する。 【履修確認】 小テスト2点
5	プランニング⑦	【授業形態】講義・実習 【到達目標】インテリア、テーブルセッティング、動線のシュミレーション。 【履修確認】 小テスト2点
6	施術トレーニング②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ハンド・フットのトリートメント 【履修確認】 小テスト2点・課題点２点
7	中間試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】 【履修確認】 中間試験20点
8	サロンワークシミュレーション①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】衛生管理の方法を各パートに分かれてロールプレイングする。 【履修確認】 小テスト2点
9	プレオープン振返り、プランニング	【授業形態】講義・実習 【到達目標】プレオープンの反省、改善点を話し合う。 【履修確認】 小テスト2点
10	サロンワークシミュレーション②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グランドオープンに向けての最終確認、テーブルセッティング、動線確認 【履修確認】 小テスト2点
11	ビューティートレーニングランド振返り、プランニング	【授業形態】講義・実習 【到達目標】反省、改善点を話し合う。実技の欠点克服、集客方法を考える 【履修確認】 小テスト2点
12	ビューティートレーニングランド振返り、プランニング	【授業形態】講義・実習 【到達目標】反省、改善点を話し合う。クレーム対応シミュレーションを行う 【履修確認】 小テスト2点
13	ビューティートレーニングランド振返り、プランニング	【授業形態】講義・実習 【到達目標】反省、改善点を話し合う。売上管理、収支を理解する。顧客管理、顧客情報活用について 知り、アンケートをまとめ、ニーズに活かす。 【履修確認】 小テスト2点
14	ビューティートレーニングランド振返り、プランニング	【授業形態】講義・実習 【到達目標】前期の振返りを行い、後期に向けてのプランニングを行う 【履修確認】 小テスト2点・課題点２点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】 【履修確認】 期末試験50点

科目名	サロンワークⅠ	年次	2年	実務経験	担当	服部　幸子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Salon　Work　Ⅰ	時間数	120	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	8		曜日・時間	火2・3・4限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	サロンなどで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行う。又、店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか等を理解してほしい。 開店、集客、接客、お見送り、アフターフ
到達目標	サロン運営を通して、整理整頓を進んで行う事が出来る。 接客マナーやスタッフ間のチームワークでの協調性を身につけることができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■　実技試験　　□　作品

教科書	プリント（補助教材）随時配布	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】役割決め（店長・副店長・経理・その他担当）、予算、日々の管理 【履修確認】 小テスト2点
2	プランニング③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】感染予防についての衛生管理を学び、サロンでの対策を考える。 POP、インテリア、使用商材、備品のチェック、HP内容の検討、商材買い出し 【履修確認】 小テスト2点
3	施術内容トレーニング①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】オフ、ハンドケア、ハンドジェルのタイムトライアル 【履修確認】 小テスト2点
4	プランニング⑥	【授業形態】講義・実習 【到達目標】メニュー内容調整。メイク科、エステ科、ネイル科コラボメニュー検討（3限）、 HP掲載最終確認 【履修確認】 小テスト2点
5	プランニング⑧	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フットケア、フットジェル、角質除去のトレーニング 【履修確認】 小テスト2点
6	施術内容トレーニング③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フットケア、フットジェル、角質除去のトレーニング 【履修確認】 小テスト2点・課題点2点
7	中間試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】 【履修確認】中間試験20点
8	プレオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3科生徒間でのプレオープンをする。 【履修確認】小テスト2点
9	プレオープン振返り	【授業形態】講義・実習 【到達目標】欠点徹底克服、タイムトライアル 【履修確認】 小テスト2点
10	グランドオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】一般のお客様に対してグランドオープンする 【履修確認】 小テスト2点
11	サロンオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】 小テスト2点
12	サロンオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】 小テスト2点
13	サロンオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】 小テスト2点・課題点2点
14	サロンオープン	【授業形態】講義・実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】 小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】 【履修確認】期末試験50点

科目名	コンテスト対策Ⅰ	年次	2	実務経験	担当	阿部　恵理子
		授業形態	演習			
（英）	Measures for Contest Ⅰ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科NL専攻	単位	4		曜日・時間	木1・2限

講師紹介	コンテスト出場者、過去入賞者を指導した実績から傾向と対策を考えてアート、イクステンション技術を教えるのと同時に自身でデザインをする力を授業で育てていきます
目的 科目概要	毎回授業のテーマに合ったデザインを考え習った技術がただのコピーではなく、自身のオリジナルデザインになるよう、尚且つ作品の完成度をあげるために、日々研鑽する。
到達目標	コンテストに必要な繊細なアート、イクステンション技術などと複合したアート技術などのネイルテクニックとデザイン力を学び、コンテストで通用する技術を身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □　筆記試験　　■　実技試験　　■　作品

教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	学内外のコンテストに参加するために授業で習った技術の練習、タイムトライアルを行うことが望ましい。
教材	ネイル道具一式、筆記用具		
特記事項	デザイン画を描くこともあるので、ノートと筆記用具、必要であれば色鉛筆など準備する。その他、作品に合わせたネイル材料を都度用意する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	人物①	可愛いおんなのこ、天使をジェルで描く
2	人物②	ピエロ、スカルをジェルで描く
3	動物①	ユニコーン、ペガサスをジェルで描く
4	動物②	ネコ、トラを描く
5	鳥・蝶々	孔雀、蝶々を描く
6	中間試験練習	中案試験でつくるデザインを決めて練習する
7	中間試験	和風がテーマで今まで習った人物、動物、花、蝶々、和柄いずれかを組み合わせて作品をつくる
8	魚①	魚、イルカを描く
9	魚②	金魚、鯉
10	建物	城や橋を描く
11	作品制作①	テーマ”金魚または鯉”和風のお魚アート、水墨画のようにモノトーンの色彩でも、彩色豊かに描いても、どちらでもよい。魚の動きや水の流れを表現する
12	作品制作②	テーマ”アニバーサリー”誕生日や記念日。自分のバースデーや子供の誕生、結婚、母の日などのイメージでジェルアートを作成する
13	作品制作③	テーマ”ヴェネツィア・カーニバル”イタリア水の都の催事、ドレスや仮面で仮装して街を練り歩く。をイメージして作成
14	定期試験練習	定期試験のテーマの練習
15	定期試験	テーマに合ったデザインを自分で考えて授業時間内に5枚1セット、ネイルチップでつくる

科目名	ネイルアートⅡ	年次	2	実務経験	担当	阿部　恵理子
		授業形態	実習			
（英）	Nail Art　Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科NL専攻	単位	4		曜日・時間	木3・4限

講師紹介	ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容学校で講師としても活動。検定試験の内容からサロンで流行している最新のデザインまでレクチャーします。
目的 科目概要	日々新しい技術やアートが生まれていく業界で、今流行しているアートだけではなく、定番のアートや技術が必要になる難しいアートなどいろんな技術を学び、どんなデザインでもできるような力を身につける。
到達目標	様々なアート技術を学び、ネイルテクニックとデザイン力をつける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □　筆記試験　　■　実技試験　　■　作品

教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	毎回違う技術を習うので、習った技術を忘れないようにメモをとったり自宅で復習をして覚えること。
教材	ネイル道具一式、筆記用具		
特記事項	携帯電話で画像検索したりするので、十分に充電がされている状態で受講してください。授業中は画像検索以外の携帯電話の使用は禁止します		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルアート①花	トールペイントの花やニュアンスの花など、上級者テクニックの花
2	ジェルアート②レース	繊細で均一の線を繰り返し重ねたレースアートをネイルチップに描く
3	ジェルアート③和柄	市松模様、鹿の子模様、麻の葉模様をジェルで描く
4	ジェルアート④和柄	牡丹や菊、桜などの和柄の花を描く
5	トールペイント①	ジェルでトールペイントを描く(薔薇、牡丹)
6	トールペイント②	トールペイントと蝶々で作品制作
7	中間試験	ドリームをテーマで今まで習ってきた人物、動物、花、蝶々、レースなどのいずれかを使って作品をつくる
8	ジェルアート⑤海	ドロップネイル、波打ち際やヤシの木を描く
9	ジェルアート⑥垂らし込み	垂らし込みアートで水玉模様や、花を描きます
10	人物・動物復習	人物や動物の描き方を復習する
11	作品制作①	テーマ”海”海の中でも浜辺でもどちらも可。魚以外に海獣（イルカ、くじら、ホッキョクグマ）でも架空の人魚でもよい。海の中が暗くならないよう明るくカラフルに表現する
12	作品制作②	テーマ”生物多様性～種の保存～”自然環境悪化に伴い危機的状況にある動物や植物、生態系をジェルアートで表現する
13	作品制作③	テーマ”地球環境問題”海洋汚染、熱帯雨林減少、砂漠化、途上国の公害、温暖化などの問題をジェルアートで表現する
14	定期試験練習	定期試験のテーマの練習
15	定期試験	決められたテーマでデザインを自分で考えて授業時間内に5枚1セット、ネイルチップでつくる

科目名	ネイリスト検定対策Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	殿村　雅子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Nail for Examination Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	4		曜日・時間	水1・2限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	ネイリスト検定1・2級・ジェル検定中級の内容の理解をして頂き、イクステンションを学ぶ。最終的にネイリスト技能検定1・2級に合格する事を目標とし授業を行う。 タイムを意識して施術し、中間テストと期末テストを取り入れ、ネイリスト検定1・2級に合格できるよう実技採点基準に基づき合格レベルに達するよう授業に臨んでほしい。
到達目標	仕上がりを左右するフォームやチップの装着を理解し、全ての技術のベースとなるブラシワーク・ファイリング・仕上がりのフォルムをしっかりマスターし検定試験合格を目指す。また、さらにその技術を向上させ将来即戦力となる高い技術を身に付ける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑﾍﾞｰｼｯｸ、JNAｼﾞｪﾙ	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式、検定要項		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェル検定中級の内容の理解	【授業形態】講義・実習 【到達目標】要項解説・マシンでのオフ。内容書き取り・デモ・相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
2	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデーション・ジェルイクステンション。デモ・相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
3	中級内容のスムーズな施術が出来るようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
4	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
5	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
6	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】中級内容 【履修確認】中間試験20点
8	検定試験の内容を理解する	【授業形態】講義・デモンストレーション 【到達目標】試験要項の内容を完璧に理解する。試験内容や減点、失格のポイントも確実に把握する. ミクスチュアの取り方、筆の下ろし方 【履修確認】小テスト2点（正しくミクスチュアがとれたか）
9	イクステンション②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フォーム装着、1～3ボール目までのアプリケーションをマスターする（ピンチング・削りまで） 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）　ハンドトレーニング
10	イクステンション④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】①～③で学んだ技術を活かし人差し指・中指・薬指を同じ形に仕上げる。 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
11	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
12	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
13	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
14	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】検定試験内容 【履修確認】定期試験50点

科目名	ジェルネイル検定対策Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	殿村　雅子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Nail for GelExaminationⅡ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	4		曜日・時間	金1・2限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	ジェル検定中級の内容の理解をして頂き、ジェルイクステンションを学ぶ。最終的にネイリスト技能検定1・2級に合格する事を目標とし授業を行う。 タイムを意識して施術し、中間テストと期末テストを取り入れ、ジェル検定初・中・上級に合格できるよう実技採点基準に基づき合格レベルに達するよう授業に臨んでほしい。
到達目標	ネイリスト技能検定1・2級に合格できるよう商品の特性を習得し、技術の向上を図る。 ジェル検定中級に合格出来るようハンドケア・ジェルについて学び技術を習得。 実際に相モデルトレーニングを行い検定時間内に技術を終える事が出来る。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑﾍﾞｰｼｯｸ、JNAｼﾞｪﾙ	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式、検定要項		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルイクステンションを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フォームを用いたジェルの長さ出し。デモ・相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
2	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フレンチ・ジェルイクステンション。デモ・相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
3	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
4	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
5	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
6	中級に向けて自信をつける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデ・フレンチ・ジェルイクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】中級内容 【履修確認】中間試験20点
8	イクステンション①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フォームのカットの仕方～1ボール目のアプリケーションをマスターする ハンドトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
9	イクステンション③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】チップオーバーレイの基礎を学ぶ。チップ装着から削りまで行う。ハンドトレーニング　【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
10	イクステンション⑤	【授業形態】講義・実習 【到達目標】片手5本にイクステンションを装着。バランスを重視して仕上げる。相モデルトレーニング　【履修確認】小テスト2点（仕上がり）+課題点2点
11	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
12	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
13	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
14	検定級別に技術強化する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】1級：スカ・オーバーレイ/2級：ケアカラー・チップラップ/中級：グラデ・フレンチ・イクステンション 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
15	期末試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】検定試験内容 【履修確認】定期試験50点

科目名	サロンワークⅠ	年次	2	実務経験	担当	山田　優子
		授業形態	演習			
（英）	Salon Work Ⅰ	時間数	90	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	6		曜日・時間	火2・3・4限

講師紹介	エステティシャンとして、約20年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌やボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では実務を通じて、皆さんがエステティシャンとして社会で活躍する際に必要となる接客力や技術力を磨いていきます。お客様により多くご満足頂けるよう、実践を繰り返し切磋琢磨していきましょう。
目的 科目概要	一年次に学んだ基礎知識と技術を基に、事前準備の大切さ、協調と協労の必要性を体感する。サロンワークにおける接客、施術を通し、お客様にご満足頂ける接客力、技術力を習得する。お客様、サロン、スタッフにとって、より良い環境やサービス提供の為のアイディアと前向き思考を持ち、実践を繰り返す。
到達目標	挨拶・気遣い・清掃・整理整頓を進んで行う事が出来る。接客マナー・チームワーク・協調性を身につける。サロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　　□ 実技試験　　□ 作品

教科書		事前事後学習とその内容	実習後、サロンワークを行ってみて考えられる改善点や伸長点は次回授業までに列挙しておく。
教材			
特記事項	授業内にてスタッフ同士で決定した事や変更事項は必ずメモに残し、スタッフ全員で統一見解を持つ事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション／ミーティング	この科目の意味や目的を理解する。どんなサロンにしたいか（サロンコンセプト、サロン名、イメージ、レイアウト、役割等）をグループワークで考える。サロンマネジメントを学ぶ。
2	ミーティング	メニュー、トリートメント内容、HP掲載内容、使用商材、使用機材など、具体的な項目を検討する。 サロンマネジメントを学ぶ。
3	ミーティング	メニュー、トリートメント内容、HP掲載内容、使用商材、使用機材など、具体的な項目を決定する。作成及び準備する。東洋と西洋のセラピーを学ぶ。
4	プランニング／合同ミーティング	レイアウト、ベッドメイキング等を行い。相モデルにてお客様のお出迎えから接客、施術、アシスト、お見送りまでを行う。改善点を見出し、対策を考察する。メイクアップコース、ネイルコースと合同ミーティングしコラボメニューを懸案する。
5	プランニング	内容や工程の最終調整を検証、調整する。合同ミーティングで懸案した事項を具体化する。
6	プランニング	接客・施術の練習。内容や工程の最終調整を検証、調整する。
7	中間試験	オリエンテーションからプレオープンまでの振り返り発表。オープンの準備。
8	プレオープン	メイクアップコース、ネイルコースと合同で相モデルにて接客・施術・運営を行う。
9	プレオープン振り返り	プレオープンを踏まえ、改善点を見出し、対策を立てる。接客・施術の練習。
10	サロンオープン①	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
11	サロンオープン②	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
12	サロンオープン③	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
13	サロンオープン④	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
14	サロンオープン⑤	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
15	期末試験	サロンオープンから14回授業までの振り返り。改善点の洗い出し後期に向けた準備。

科目名	サロンワークⅠ	年次	2	実務経験	担当	山田　優子
		授業形態	演習			
（英）	Salon Work Ⅰ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	4		曜日・時間	木3・4限

講師紹介	エステティシャンとして、約20年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌やボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では実務を通じて、皆さんがエステティシャンとして社会で活躍する際に必要となる接客力や技術力を磨いていきます。お客様により多くご満足頂けるよう、サロンオープンに向けて準備を行っていきます。
目的 科目概要	一年次に学んだ基礎知識と技術を基に、事前準備の大切さ、協調と協労の必要性を体感する。サロンワークにおける接客、施術を通し、お客様にご満足頂ける接客力、技術力を習得する。お客様、サロン、スタッフにとって、より良い環境やサービス提供の為のアイディアと前向き思考を持ち、実践を繰り返す。ＡＥＡ認定上級エステティシャン資格取得へ向け理論を学ぶ。
到達目標	挨拶・気遣い・清掃・整理整頓を進んで行う事が出来る。接客マナー・チームワーク・協調性を身につける。サロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身につける。AEA認定上級エステティシャン筆記試験合格に必要な知識を身に付ける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を 不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　　□ 実技試験　　□ 作品

教科書	ＡＥＡテキスト・ＡＥＡエステティシャン認定試験問題集	事前事後学習とその内容	実習後、サロンワークを行ってみて考えられる改善点や伸長点は次回授業までに列挙しておく。
教材			
特記事項	授業内にてスタッフ同士で決定した事や変更事項は必ずメモに残し、スタッフ全員で統一見解を持つ事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション／サロンマネジメント	この科目の意味や目的を理解する。どんなサロンにしたいかを考案する。 AEAテキスト・サロンマネジメントについて学ぶ。
2	サロンマネジメント	AEAテキスト・サロンマネジメントについて学ぶ。
3	東洋、西洋のセラピー	AEAテキスト・東洋、西洋のセラピーについて学ぶ。
4	東洋、西洋のセラピー	AEAテキスト・東洋、西洋のセラピーについて学ぶ。
5	東洋、西洋のセラピー	AEAテキスト・東洋、西洋のセラピーについて学ぶ。
6	東洋、西洋のセラピー	AEAテキスト・AEAテキスト・東洋、西洋のセラピーについて学ぶ。
7	中間試験	6回授業までの理解度を確認する。
8	サロンでの救急法	AEAテキスト・サロンでの救急法について学ぶ。
9	サロンでの救急法	AEAテキスト・サロンでの救急法について学ぶ。
10	サロンでの衛生消毒	AEAテキスト・サロンでの衛生、消毒について学ぶ。
11	サロンでの衛生消毒	AEAテキスト・サロンでの衛生、消毒について学ぶ。
12	サロンでの衛生消毒	AEAテキスト・サロンでの衛生、消毒について学ぶ。
13	サロンでの衛生消毒	AEAテキスト・サロンでの衛生、消毒について学ぶ。
14	13回授業までの復習と模擬問題	13回授業までの復習と理解度を確認する。
15	期末試験	14回授業までの理解度を確認する。

科目名	ボディエステティックⅡ	年次	2	実務経験	担当	伊藤　葉子
		授業形態	演習			
（英）	Body　EstheticsⅡ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科ES専攻	単位	4		曜日・時間	水1・2限

講師紹介	CIDESCO、アロマテラピー、美容脱毛、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、エステティック教育に10年以上尽力してきた講師が、AEA上級実技試験に必要な知識と技術をわかりやすく丁寧に講義する。
目的 科目概要	目的：AEA上級試験合格に向けての知識と技術を学ぶ。 概要：エステティックトリートメントを正しく行うために必要な知識を幅広く学び、資格取得のための技術を習得する。具体的には、ボディコンサルテーション、マッサジ手技、身体各部位の施術方法、技術者の姿勢と体重移動、接客とお客様準備について実践的な授業を行う。
到達目標	・エステティシャンとしての身だしなみ、所作を習得する。 ・AEA上級実技試験に合格するための技術力を習得する。 ・さまざまなボディタイプに合わせたトリートメントの選択ができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □筆記試験　　■実技試験　　□作品

教科書	AEAテキスト／日本エステティック協会実技テキスト	事前事後学習とその内容	・毎回、授業後から次の授業までの間に、自身の体またはご家族の体で手技の反復復習を行う。（20分） ・授業前日までに教材を用意しテキストの内容を確認しておく。（10分）
教材	プリント適宜配布／筆記用具持参（色鉛筆）		
特記事項	実技中は身だしなみに留意し、フェイスシールドを着用する。常に衛生に心掛けること。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ボディマッサージ（後面）	事前準備とストレッチ、お客様準備、下肢後面・腰背部のマッサージを行う。1年生で習った手技を再確認し、強弱、密着、リズムなどに留意し、自分の姿勢と体重移動を意識して行う。
2	ボディコンサルテーション	AEAコンサルテーションシートを使用した記入方法を習得する。コンサルテーションの目的と手順を理解し、お客様誘導、筋チェック、スキンチェックを実践する。
3	ボディマッサージ（前面）	事前準備、お客様準備、下肢前面、上肢、腹部マッサージを行う。強弱、密着、リズムなどに留意し、自分の姿勢と体重移動を意識して行う。
4	トラブル別コンサルテーション	ボディトラブルに合わせた提案と、にコンサルテーションシートの活用ができるようになる。
5	ボディコンサルテーション・ボディマッサージ	お客様準備、コンサルテーション、ボディマッサージ（部位選択）を連続して行う。規定時間内にできるよう時間管理に留意する。
6	ボディマッサージ（全身）	お客様準備、ボディマッサージ（全身）を行う。試験同様の手順で実践し時間管理に留意する。
7	全身の施術／中間試験	1回から6回までの内容を確認し、コンサルテーション、ボディマッサージ（全身）を行う。技術力確認テストを実施する。
8	ボディ機器（低周波機器）①後面	機器実技理論を再確認し、後面のトリートメントを実践する。筋肉とパッドの位置、ボリューム、時間設定など正確に行えるよう留意する。
9	ボディ機器（低周波機器）②前面	前面のトリートメントを実践する。効果的なトリートメントを、規定時間内にできるよう時間管理に留意する。
10	ボディ機器（ボディガルバニック）①前面	ボディガルバニックの目的と効果を理解し、トリートメント手順を習得する。
11	ボディ機器（ボディガルバニック）②後面	ボディガルバニックの禁忌事項を理解し、各部位の効果的なセッティング方法を習得する。
12	リンパドレナージ	解剖生理学で学んだ循環器系の理論を基にリンパドレナージの目的と手順を習得する。人体の構造をイメージし、効果的なトリートメントができるようになる。
13	ボディコンサルテーションとボディ機器	各ボディ機器の目的と特徴を再確認し、ボディトラブルと機器との関係を理解する。ボディトラブルに合わせて機器選択し、シートが活用できるようになる。
14	ボディ機器の提案とボディマッサージ	各ボディ機器の目的と特徴を踏まえ、ボディマッサージとの組み合わせで効果的なトリートメントが提案できるようになる。選択した機器と選択した部位のボディマッサージを実践する。
15	全身の施術／期末試験	8回から14回までの内容を確認し、ボディ機器、ボディマッサージ（選択部位）を行う。技術力確認テストを実施する。総括と振り返り。

科目名	エステティック理論Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	伊藤　葉子
		授業形態	講義			
（英）	Esthetics TheoryⅡ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科ES専攻	単位	4		曜日・時間	水3・4限

講師紹介	CIDESCO、アロマテラピー、美容脱毛、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、エステティック教育に10年以上尽力してきた講師が、AEA上級筆記試験に必要な知識をわかりやすく丁寧に講義する。
目的 科目概要	目的：AEA上級試験合格に向けての知識を学ぶ。 概要：エステティックトリートメントを正しく行うために必要な知識を幅広く学び、資格取得のための知識を習得する。具体的には、皮膚科学、心身生理学、運動生理学、栄養学、化粧品学、E機器学、関連法規、Eカウンセリング、CIDESCO基礎理論を学ぶ。
到達目標	・AEA上級筆記試験に必要な知識と、実技試験に必要な実技理論を習得する。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験　　□実技試験　　□作品

教科書	AEAテキスト	事前事後学習とその内容	・毎回の授業後ノートの清書をする。（20分） ・授業前日までにテキストを用意し内容を確認する。（10分）
教材	プリント適宜配布／筆記用具持参		
特記事項	必要な内容はメモを取ること。基本的に無断での写真撮影、動画撮影を禁止する。必要な場合は許可を得ること。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	皮膚科学①基礎理論	1年生で習った皮膚科学を再確認し、皮膚の構造と機能について理解を深める。
2	皮膚科学②トラブル皮膚と皮膚の病気、爪の病気	ニキビ、シミ、老化など、トラブル皮膚の特徴と原因、皮膚疾患、爪の病気について理解を深める。
3	皮膚科学③毛髪学／美容脱毛	皮膚の付属器官（爪、毛、汗腺、皮脂腺、など）と毛髪学の理解を深める。／美容脱毛の種類（一時的脱毛と不再生脱毛）とそれぞれの特徴を学ぶ。
4	電気機器学①基礎理論／自然科学	化学結合、電流、単位など基礎理論について理解を深める。／物質の三態、イオン、光線について学ぶ。
5	電気機器学②エステティック機器学	各電気機器の特徴と適応症・禁忌事項について理解を深める。
6	化粧品学①基礎理論／基礎化学	化粧品分類、剤型、原料などの基礎理論の理解を深める。／有機と無機、酸化、乳化を学ぶ
7	化粧品学②応用／中間試験	化粧品の種類、メイク・ネイル化粧品について理解を深める。／1回から6回までの内容を確認する。知識力確認テストを実施する。
8	栄養学①基礎理論	五大栄養素、栄養価、代謝、消化と吸収について理解を深める。
9	栄養学②各論	食品分類とそれぞれの栄養素が多く含まれる食品について理解を深める。
10	栄養学③応用	スキンケア、ボディケアに必要な栄養素とホームケアアドバイスについて理解を深める。食事とダイエットについて学ぶ。
11	運動生理学①基礎理論	骨格筋の活動様式と体型の改善、姿勢の不調、肥満による皮膚トラブルなどについて理解を深める。
12	運動生理学②ダイエット	有酸素運動と無酸素運動、運動処方、運動の実際について理解を深める。運動とダイエットについて学ぶ。ボディタイプと体型の改善について学ぶ。
13	エステティックカウンセリングと職業倫理	カウンセリングとコンサルティング、顧客心理、接客、CSとESなど理解を深める。従業員と雇用者、顧客、医療従事者との関係について学ぶ。
14	心生理学／ホメオスタシス	大脳生理学、ホメオスタシス、ストレスについて理解を深める。
15	関連法規／期末試験	エステティック関連法規と自主基準について理解を深める。／8回から14回の内容を確認する。知識力確認テストを実施する。総括と振り返り。

科目名	エステティック概論 Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	小池　千絵
		授業形態	講義			
（英）	Outline of Esthetics Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科ES専攻	単位	4		曜日・時間	月1・2限

講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がAEA上級エステティシャンの筆記試験に合格するために馴染みにくい解剖生理学などを理解しやすく解説します。
目的 科目概要	エステティック概論、解剖生理学を学びAEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準に到達する
到達目標	AEA上級エステティシャン筆記試験に合格する
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　　□ 実技試験　　□ 作品

教科書	AEAテキスト（エステ概論・解剖生理学）・AEA筆記試験例題集	事前事後学習とその内容	事前にテキストをしっかりと読み事後は例題集を解く
教材	ぜんぶわかる人体解剖図		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	解剖生理学とエステティック概論	細胞、組織、器官系　　エステティックとは
2	解剖生理学とエステティック概論	免疫　　エステティックの歴史と現状
3	解剖生理学とエステティック概論	骨格系　　エステティックの展望
4	解剖生理学	筋系
5	解剖生理学	神経系
6	解剖生理学	感覚器系
7	筆記試験	1～6回目までの範囲
8	解剖生理学と運動生理学	消化器系
9	解剖生理学と心身生理学	呼吸器系
10	解剖生理学と心身生理学	循環器系
11	解剖生理学と心身生理学	内分泌系
12	解剖生理学と心身生理学	泌尿器系
13	解剖生理学と心身生理学	生殖器系
14	解剖生理学	例題集を解く
15	筆記試験	今まで学んだ範囲

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	村上　礼奈
		授業形態	講義			
（英）	Career　Development　Ⅳ	時間数	30		開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	火1限

講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティーアドバイザーとして都内百貨店に勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。
目的 科目概要	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸや個人ﾜｰｸでの自己分析、ﾁｰﾑで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【ﾁｰﾑで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点Ａ（4.0）、89点～80点Ｂ（3.0）、79点～70点Ｃ（2.0）、69点～60点Ｄ（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。
教材	スケジュール帳・筆記用具		
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身につけましょう）		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介、クラス目標	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする。
2	社会人基礎力を身につける	5年後、10年後のビジョンについて考える
3	社会人基礎力を身につける	きれいな文字でお礼状を書く。
4	社会人基礎力を身につける	人前で報告する
5	グループディスカッション	【テーマ】敬語ではなす
6	グループワーク	面接対策を通しての気付きをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材がを求めているか』を考えてまとめる　800文字以内
8	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。上座・下座について学ぶ。
9	社会人基礎力を身につける	電話対応について学ぶ
10	社会人基礎力を身につける	伝える力を学ぶ。絵を見て覚え、他の仲間に言葉だけで覚えた絵を伝えることができるか。
11	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
12	グループワーク	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける。 例）鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
14	定期試験	社会に出ていくために必要なことについてまとめる。800文字以内
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名	サロンワークⅡ	年次	2	実務経験	担当	浅野　景子
		授業形態	演習			
（英）	Salon　Work　Ⅱ	時間数	90	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	6		曜日・時間	火2・3・4限

講師紹介	化粧品カウンターの責任者として、ビューティカウンセリング・アドバイスを主とした接客接遇と部下育成に貢献した経験を活かし、美容総合インストラクターとして専門教育を行っています。ビューティアドバイザー、メイクアップアーティストを目指す皆さんに働く心得とプロの接客接遇をお伝えします。
目的 科目概要	目的：就職後、即戦力になるため、自ら状況判断ができ発言、行動できる。またお客様から指名される接客技術を身につける。 概要：この科目では学内サロンとオンラインセミナーで、スキンケアアドバイスやメイクアップアドバイスをスムーズに行うことができる技術を修得する。サロン運営によってお客様が満足できる接客接遇とメイクアップを提供できるプロの技術を修得する。また、オンラインを使ったスキンケアやメイクアップのアドバイスができるようになる。就職後の仕事に役に立つメンバー全員で取り組む協調性や接客接遇を経験する実習である。
到達目標	チームワークを大切にし、メンバーの一人として自ら行動を起こすことができる。 お客様にとって好感が持てる接客接遇ができ、臨機応変に対応できる。 お客様が満足できるスキンケアアドバイスやメイクアップができる。 オンラインでのスキンケア、およびメイクアップのアドバイスがスムーズにできる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	日常生活で接客されたとき、お客様の立場と接客する側の両方の立場について考え、「良い点」「悪い点」を意識し、サロンワークの接客に役立ててほしい。お客様のニーズに合わせたメイクアップを仕上げられる技術とスキンケアアドバイス力を磨くことを望む。
教材			
特記事項	チームワークと協調性を重んじ行うべきことの優先順位を考えながら行動する。報告、連絡、相談を常に取り入れて楽しく参加してほしい。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン⑥ オンラインセミナー①	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
2	サロンオープン⑦ オンラインセミナー②	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
3	サロンオープン⑧ オンラインセミナー③	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
4	サロンオープン⑨ オンラインセミナー④	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
5	サロンオープン⑩ オンラインセミナー⑤	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
6	サロンオープン⑪ オンラインセミナー⑥	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
7	中間試験	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
8	サロンオープン⑫ オンラインセミナー⑦	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
9	サロンオープン⑬ オンラインセミナー⑧	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
10	サロンオープン⑭ オンラインセミナー⑨	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
11	サロンオープン⑮ オンラインセミナー⑩	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
12	サロンオープン⑯ オンラインセミナー⑪	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
13	サロンオープン⑰ オンラインセミナー⑫	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
14	サロンオープン⑱ オンラインセミナー⑬	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接遇を行う。または、オンラインによるアドバイスを行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
15	期末試験	サロンオープンを振り返り、日別に業務内容をレポートし、自己評価を行う。また、「サロンワークⅠ」「サロンワークⅡ」から学べたことと就職後の決意、新2年生へのメッセージをレポートする。

科目名	スキンケアカウンセリングⅢ	年次	2	実務経験	担当	齊藤　朋子
		授業形態	講義・演習			
（英）	Skin Care Counseling Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	月3・4限

講師紹介	国内大手化粧品会社でBA、海外派遣、メイクアップアドバイザー等経験後、施策担任として社内外のセミナーや社員教育に携わる。現在はエステサロンオーナー兼現役エステティシャンとして活動中。お客様に寄り添ったスキンケアカウンセリングを意識した講義・演習を目指しています。
目的 科目概要	目的：「知識力」「聞く力」「提案力」「応対力」を身に着けることで、お客様のニーズに合わせたスキンケアカウンセリングを目指す。　概要：スキンタイプ別、悩み別の肌の状態と原因を理解し、スキンケアカウンセリング必要な「聞く」技術を習得し提案に活かす。様々なお客様や場面を想定したロールプレイングを演習する。
到達目標	お客様の肌のお悩みやご要望を聞き出し、個々の肌タイプ及び肌悩みに合わせたスキンケアカウンセリング及びアイテムの紹介や使い方などのアドバイスができる。顧客データを読み取りカウンセリングに活かすことができる。表情・言葉遣い・所作を意識しながらお客様に寄り添う応対ができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	就職内定先、目指しているブランド、興味あるスキンケアの種類、特徴、有効成分などを調べ、ロールプレイで活用すると将来役に立ちます。学んだ知識は何度も口に出して練習してみましょう。
教材			
特記事項	授業内で配布したプリント、資料や自分で収集したパンフレットや資料を持参して受講する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアカウンセリングⅢの進め方について 季節と肌（秋）	架空のお客様のデータを作る（スキンケアカウンセリングで使用予定）。顧客カルテの読み取り方について学ぶ。季節による肌質別の変化を理解しカウンセリングに活かす。
2	悩み別スキンケアカウンセリング【シミ】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせたシミ対策のケアをご紹介する。
3	悩み別スキンケアカウンセリング【ニキビ・ニキビ跡】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせたニキビ・ニキビ跡対策のケアをご紹介する。
4	悩み別スキンケアカウンセリング【乾燥】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせた乾燥対策のケアをご紹介する。
5	悩み別スキンケアカウンセリング【くすみ】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせたくすみ対策のケアをご紹介する。
6	悩み別スキンケアカウンセリング【目尻の小じわ】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせた目尻の小じわ対策のケアをご紹介する。
7	中間試験	顧客カルテを読み取ることができるか。肌悩み別に肌の状態を説明でき、原因、対策及びスキンケアアイテムの紹介までできるかを確認する。秋の肌を理解できているか確認する。
8	季節と肌（冬）	季節による肌質別の変化を理解しカウンセリングに活かす。　冷えと肌の関係。睡眠と肌の関係などプラスαの知識を学ぶ。
9	悩み別スキンケアカウンセリング【たるみ】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせたたるみ対策のケアをご紹介する。リンパと肌の関係について学ぶ。
10	悩み別スキンケアカウンセリング【毛穴】	顧客カルテを読み取り、お客様のお悩みに合わせた毛穴対策のケアをご紹介する。栄養と肌について学ぶ。
11	悩み別アイテム紹介【シミ】 他社との比較	スキンケアカウンセリングにおいてご紹介したシミ対策の美容液の訴求ポイントをお伝えできる。女性ホルモンと肌の関係を学ぶ。
12	悩み別アイテム紹介【シワ・たるみ】 他社との比較	スキンケアカウンセリングにおいてご紹介したシワ・たるみ対策の美容液の訴求ポイントをお伝えできる。
13	スキンケアカウンセリングのまとめ①	お客様のお悩み・ご要望を伺いスキンケアカウンセリングを行い、スキンケアアイテムと使い方を等をご提案しスキンケアアドバイスシートを作成する。
14	スキンケアカウンセリングのまとめ②	お客様のお悩み・ご要望を伺いスキンケアカウンセリングを行い、スキンケアアイテムと使い方を等をご提案しスキンケアアドバイスシートを作成する。
15	期末試験	顧客カルテを読み取り、肌悩み別に肌の状態を説明でき、原因、対策及びスキンケアアイテムの紹介までできるか。生活環境と肌の関係を理解できているか。冬の肌を理解できているか確認する。

科目名	トータルセールス	年次	2	実務経験	担当	齊藤　朋子
		授業形態	講義・演習			
（英）	Total Sales	時間数	120	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科MU専攻	単位	8		曜日・時間	金1・2・3・4限

講師紹介	国内大手化粧品会社でBA、海外派遣、メイクアップアドバイザー等経験後、施策担任として社内外のセミナーや社員教育に携わる。現在はエステサロンオーナー兼現役エステティシャンとして活動中。お客様のニーズに合わせた幅広い美容の提案・店頭業務及び、マナーをお伝えします。
目的 科目概要	目的：接客・販売に必要な知識を活かすための提案力・応対力、及び、付随する業務を理解し身につける。 要：個々に合わせたメイクアップの提案、フレグランス・ボディ商品など幅広い商品のご紹介テクニックを身につける。 の数字管理、クレーム対応、商品のラッピング・ディスプレイの基礎を学ぶ。ビューティアドバイザーに相応しいマナーを身につける。
到達目標	お客様に合わせたメイクアップの提案・アドバイスができる。フレグランスやボディ商品、限定商品などのご紹介がスムーズにできる。 レームの対応、処理ができる。お客様からのプレゼントのご相談に対応でき、慶弔に合わせたラッピングができる。 いや立ち振る舞いなどを中心に接遇を学ぶ。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	授業中は生徒同士、意識して敬語を使うようにしましょう。就職内定先や目指しているブランドのメイクアップ化粧品や、話題の化粧品の情報を収集し共有したり、ロールプレイで活用できるようにしてください。
教材			
特記事項	メイクアップセールスの授業は、授業開始までにテーブルにセッティングし、すぐに化粧品が使用できるよう準備する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	クレーム対応について考える ラッピングとマナー	化粧品カウンターでのクレームの種類・対応の心得・対策の知識を学ぶ。 ラッピングの基礎知識を学ぶ。長方形の箱をラッピングできる。待機の基本と言葉遣いについて学ぶ。
2	ベースメイクの選び方と提案ロールプレイ ラッピングとマナー	ベースメイクアイテム別の特徴や使い方を説明する。ベースメイク選び・提案・アドバイスができる。長方形の箱のラッピングにリボン掛けができる。挨拶と敬語について学ぶ。
3	ベースメイクからポイントメイクの提案をする ラッピングとマナー	ベースメイクからチーク、フェースカラーなどの提案・アドバイスができる。メイクプランの使い方を学ぶ。正方形の箱のラッピングができる。立ち振る舞いについて学ぶ。
4	ベースメイクからスキンケアの提案をする ディスプレイとマナー	ベースメイク（コンシーラーの知識）からスキンケアの提案・アドバイスができる。メイクプランが作成できる。化粧品ディスプレイの基本を学ぶ。来客応対と店内のご案内について学ぶ。
5	アイブロウアイテムの選び方と提案法 ラッピングとマナー	お客様に合わせたアイブロウアイテムの提案・アドバイスができる。メイクプランが作成できる。リボン掛けの種類を学ぶ。電話応対について学ぶ。
6	アイメイクの提案法とメイクアッププラン作成 ラッピングとマナー	お客様に合わせたアイメイクの提案・アドバイスができる。メイクプランを作成する。様々な形のものをラッピングしリボン掛けを行う。外国人のお客様の接客について学ぶ。
7	中間試験	接客に必要な待機姿勢、言葉遣い、電話応対、店内ご案内などがスムーズにできる。お客様に合わせたベースメイク、アイブロウ、アイメイクアイテムの特徴や使用方法などわかりやすく伝えることができる。贈答用のラッピングとリボンかけがスムーズにできる。
8	クレーム対応のロールプレイ リップ＆チークの提案とマナー	化粧品カウンターでのクレーム対応、クレーム処理のロールプレイを行う。リップ＆チークアイテム別特徴や使用方法を説明する。ご紹介時、お客様にお試しいただく際の気配りとアドバイス法。
9	フレグランスの基礎知識とロールプレイ ラッピングとマナー	フレグランスの種類、香りの変化、ノート、使用する際の注意点、使用方法を学ぶ。小さい箱のラッピングとリボン掛けができる。贈答の基礎知識を学ぶ。
10	フレグランスの提案ロールプレイ ラッピングとマナー	お客様の香りのニーズを聞き出し、最適なフレグランスアイテムをご紹介する。フレグランスのプレゼントのご相談対応、選んだ商品のラッピングとリボン掛けのロールプレイを行う。
11	ボディ・ハンドケア製品の知識とロールプレイ ディスプレイ（POP）とマナー	ボディ・ハンドケア製品の種類や特徴を学びロールプレイングに活かす。メイクやスキンケアのお客様にボディケアを提案する。訴求できるディスプレイとPOPを学ぶ。敬語の復習。
12	売場の数字管理 ラッピングとマナー	売上金額、客単価、達成率、前年対比、在庫金額について学び算出する。美容液のプレゼントのご相談対応と、選んだ商品のラッピングとリボン掛けのロールプレイ。冠婚葬祭のマナーを学ぶ。
13	次月発売の限定商品の紹介・予約ロールプレイ ラッピングとマナー	フリー客、及び顧客への限定商品のご紹介、ご予約のロールプレイ。手紙の書き方を学び、演習を行う。メールのマナーを学ぶ。
14	フリー客への声のかけ方 復習ロールプレイ	フリー客の心理を考え声をかけるタイミングや声のかけ方を考え、ロールプレイを行う。
15	期末試験	化粧品カウンターでのクレーム処理について理解している。フレグランスの知識を習得している。贈答目的に合わせた基本的な知識を習得している。手紙の書き方、メールのマナー、冠婚葬祭のマナーの基礎知識を習得している。

科目名	ビューティーメイクⅢ	年次	2	実務経験	担当	コスメティックアクターアカデミー
		授業形態	演習			
（英）	Beauty Make Up Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	月1・2限

講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しコレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。
目的 科目概要	目的：メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーに必要なブランドの分析・特徴を捉えたメイクを習得する。科目概要：ブランドごとのアイテム特徴を捉える事ができ、タッチアップにてイメージを再現できる。
到達目標	国内・海外問わずブランドの分析・特徴を捉えたメイクアップができるようになる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　■実技試験　□ 作品

教科書	MCA公式テキスト	事前事後学習とその内容	授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。
教材	メイク道具一式		
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	フルメイク技術チェック	今までのメイクアップの個々の技術レベルをチェックする。
2	ブランドメイクアップ①	ハイブランドの分析とその特徴を捉えメイクアップを習得する①
3	ブランドメイクアップ②	ハイブランドの分析とその特徴を捉えメイクアップを習得する②
4	ブランドメイクアップ③	ハイブランドの分析とその特徴を捉えメイクアップを習得する③
5	ブランドメイクアップ④	ハイブランドの分析とその特徴を捉えメイクアップを習得する④
6	中間試験対策	ハイブランドメイクアップ（30分）対策
7	中間試験	ハイブランドメイクアップ（30分）
8	海外のメイクアップ①	韓流メイクアップを習得する。
9	海外のメイクアップ②	チャイボーグメイクアップを習得する。
10	海外のメイクアップ③	撮影映えする海外のメイクアップを習得する。
11	海外のメイクアップ④	撮影映えする海外のメイクアップグラデーションを習得する。
12	似合わせビューティーメイク①	お客様のご要望をカウンセリングし似合わせメイクを習得する。
13	似合わせビューティーメイク②	お客様のご要望をカウンセリングし似合わせメイクを習得する。
14	期末試験対策	海外のメイクアップ（40分）対策
15	期末試験	海外のメイクアップ（40分）

科目名	ヘアメイクⅣ	年次	2	実務経験	担当	井上満智
		授業形態	演習			
（英）	Hair&Makeup Ⅳ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科MU専攻	単位	4		曜日・時間	木1・2限

講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しTV、スチール、舞台、ブライダル等幅広い現場でヘアメイクを担当したのち、独立。現在はフリーランスのヘアメイクアップアーティストとして活動中。
目的 科目概要	トレンドのヘアスタイル、メイクアップの知識を学び、習得する。 自己プロデュース力を向上し、自身もきれいになりながらヘアメイクを楽しむ。
到達目標	トレンドのスタイルや様々なイメージに合わせたヘアメイクができるようになる。 ヘアとメイクのトータルで表現したいイメージを作れるようになる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　■実技試験　　□　作品

教科書		事前事後学習とその内容	トレンドのスタイルや、様々なブランドのイメージがぱっと思いつくように、日ごろから意識する。
教材	ヘア道具一式、メイク道具一式		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ヘア基礎復習、基礎技術チェック	今まで学んだヘアの基礎技術のチェック
2	トレンドスタイル(ダウンスタイル)	相モデルで韓国風の巻き方を実習する
3	トレンドスタイル(ルーズポニー)	相モデルでルーズなポニーテールを実習する
4	トレンドスタイル(お団子)	相モデルでルーズなお団子スタイルを実習する
5	セルフヘアアレンジ(ダウンスタイル)	トレンドの巻き方を習得し、自分にもできるようになる
6	セルフヘアアレンジ(アップスタイル)	セルフでのまとめ髪を習得する
7	中間試験対策	中間試験対策、相モデル決め
8	中間試験	相モデルでトレンドスタイルのヘアアレンジ
9	アップスタイルアレンジ(ルーズ)	相モデルで華やかなアップスタイルを作成する
10	アップスタイルアレンジ(面)	相モデルできっちりしたアップスタイルを作成する
11	イメージ別ヘアメイク	メイクとヘアセットを合わせてイメージを作り上げる、撮影
12	イメージ別ヘアメイク	メイクとヘアセットを合わせてイメージを作り上げる、撮影
13	イメージ別ヘアメイク	メイクとヘアセットを合わせてイメージを作り上げる、撮影
14	期末試験対策	期末試験対策、相モデル決め
15	期末試験	ブランドイメージヘアメイク60分

科目名	コンテスト対策Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	阿部　恵理子
		授業形態	実習			
（英）	Measures for Contest Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科NL専攻	単位	4		曜日・時間	月3・4限

講師紹介	コンテスト出場者、過去入賞者を指導した実績から傾向と対策を考えてアート、イクステンション技術を教えるのと同時に自身でデザインをする力を授業で育てていきます
目的 科目概要	毎回授業のテーマに合ったデザインを考え習った技術がただのコピーではなく、自身のオリジナルデザインになるよう、尚且つ作品の完成度をあげるために、日々研鑽する。
到達目標	コンテストに必要な繊細なアート、イクステンション技術などと複合したアート技術などのネイルテクニックとデザイン力を学び、コンテストで通用する技術を身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験　■ 実技試験　■ 作品

教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	毎回違う技術を習うので、習った技術を忘れないようにメモをとったり自宅で復習をして覚えること。
教材	ネイル道具一式、筆記用具		
特記事項	デザイン画を描くこともあるので、ノートと筆記用具、必要であれば色鉛筆など準備する。その他、作品に合わせたネイル材料を都度用意する。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	作品制作①	コンテスト用チップ作成
2	作品制作②	コンテスト用チップ作成
3	作品制作③	コンテスト用チップ作成
4	作品制作④	コンテスト用チップ作成
5	ジェルイクステンション①	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルスカルプチュアを練習する
6	ジェルイクステンション②	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルスカルプチュアを練習する
7	中間試験	ジェルスカルプチュアとジェルチップオーバーレイ＋フレンチ、ジェルチップオーバーレイ+フラワーの3本を規定の時間内に作る
8	タイムトライアル①	各自受験級に分かれて、タイムトライアルをする
9	ジェルアート①キャラクター	テレビや漫画で人気のキャラクターを紙にデッサンして、顔のパーツのバランスを学び、ネイルチップにジェルでデザインする
10	ジェルアート②キャラクター	テレビや漫画で人気のキャラクターを紙にデッサンして、顔のパーツのバランスを学び、ネイルチップにジェルでデザインする
11	ジェルアート③ポップアート	赤、青、黄色など原色を使ったアートで、大量生産・大量消費社会をテーマに雑誌、広告、漫画、報道などを素材にネイルチップ作品をつくる（例、自由の女神をアメリカンコミック風に描く）
12	ジェルアート④テキスタイル柄	ファッションやインテリアに使われるような柄をネイルチップに描く
13	ジェルアート⑤ボタニカル	植物をモチーフにした柄をネイルチップに描く
14	ジェルアート⑥ニュアンスネイル	印象派の絵画のような抜け感のあるデザイン、あえてつくるムラやランダム感が大事
15	定期試験	決められたテーマを規定の時間内にデザインして5枚1セットの作品をつくる

科目名	サロンワークⅡ	年次	2年	実務経験	担当	服部　幸子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Salon WorkⅡ	時間数	90	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	6		曜日・時間	火2・3・4限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	サロンで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行うよう授業を行う。 店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか理解しながら受講してほしい。 開店、集客、接客、お見送り、アフターフォローなどサロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身に付けるよう授業に臨んでほしい。
到達目標	サロン運営で整理整頓を進んで行うことを習得。 働く上で接客マナーを身に付け社会に出た際に十分お客様への対応を習得。 サロン勤務の一連の流れである接客、施術、お見送りを把握する事が出来る。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	プリント（補助教材）随時配布	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン準備	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープンに向けての最終確認 【履修確認】小テスト2点
2	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
3	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
4	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
5	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点、課題2点
6	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
7	中間テスト	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープンしての振り返り発表　反省点を改善し集客に取り掛かる。 【履修確認】小テスト2点
8	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
9	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
10	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
11	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
12	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
13	サロンオープン	【授業形態】実習 【到達目標】サロンオープン 【履修確認】小テスト2点
14	まとめ＆発表	【授業形態】実習 【到達目標】まとめ＆発表。メニュー、内容、価格、合計売上 【履修確認】小テスト2点、課題2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】この科目の振り返り＆決意表明 【履修確認】期末テスト50点

科目名	ネイリスト検定対策Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	殿村　雅子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Nail for ExaminationⅢ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	4		曜日・時間	金1・2限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	ネイリスト検定1級・2級の対策授業。検定合格に向け、接客・施術・知識の応用まで細かい点や注意事項を理解し受講してほしい。ジェルアートやお客様からのオーダーされたアートが出来るようになるようサロンに適したデザインも行う。 特にジェルの応用技術を習得しサロンワークに活かせる・ジェル検定に対応した技術を習得できるように中間試験・期末試験も徹底し授業に臨んでほしい。
到達目標	中間試験と期末試験を取り入れ、タイムトライアルで時間も意識していく。 相モデルを取り入れ実際にトレーニングを行う。 ネイリスト技能検定1・2級に合格できるよう商品の特性を習得し、技術の向上を図る。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を ■　筆記試験　　■　実技試験　　□　作品

教科書	JNAテクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業 【履修確認】小テスト2点
2	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業 【履修確認】小テスト2点
3	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業 【履修確認】小テスト2点
4	ジェル中級・上級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ジェル中級・上級内容デモンストレーション・相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
5	ジェル中級・上級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
6	ジェル中級・上級の対策授業	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点・課題点2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェル検定最終実力テスト 【履修確認】中間試験20点
8	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】小花柄、大花柄。デモ、相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
9	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】キルティング、クロコダイルなど。デモ、相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
10	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】千鳥、ツイード、レースなど。デモ、相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
11	オーダーされたアートが出来るようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】5本セットのジェルアートを写真通りに施術。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
12	サロンワークに適したジェルデザイン力を身につける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】サロンスタイルのジェルアート。デザイン画作成。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
13	様々なジェルアートの復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】柄物の振り返り練習。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
14	今までの技術を活かしてお客様にアートの提案	【授業形態】講義・実習 【到達目標】5本セットでお客様に合うジェルアートを施術。相モデルトレーニング・タイムトライアル 【履修確認】小テスト2点、課題点2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】 【履修確認】期末試験50点

科目名	ネイルアートⅢ	年次	2	実務経験	担当	殿村　雅子
		授業形態	講義・実習			
（英）	Nail art Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科NL専攻	単位	4		曜日・時間	木1・2限

講師紹介	木下ユミメークアップ＆ネイルアトリエ所属講師
目的 科目概要	ネイリスト検定1・2級・ジェル検定上級・中級の内容に基づき、様々な技法を取り入れたアートを学ぶ。 検定合格レベルのアートを身に付け、今後のサロンワークにも活かせるようデザイン性やタイムも意識して施術する。
到達目標	フラットアート、エンボス、3D、ジェルグラデーション、ジェルフレンチ、フラワーなどの検定アートを合格レベルで身に付ける。 また、さらにその技術を向上させ将来即戦力となるよう完成度を上げる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書	JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑﾍﾞｰｼｯｸ、JNAｼﾞｪﾙ	事前事後学習とその内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。
教材	ネイル道具一式、検定要項		
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1級・エンボスアート／2級・トールペイント	【授業形態】講義・デモンストレーション・実習 【到達目標】エンボスアート（5枚花、バラ、葉っぱなど検定アート）の練習。 各自受験級内容チップ作成 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
2	1級・3Dアート／2級・トールペイント	【授業形態】講義・デモンストレーション・実習 【到達目標】3Dアート（5枚花、バラ、葉っぱなど検定アート）の練習。チップ作成 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
3	1級・ミックスメディアアート／2級・トールペイント	【授業形態】講義・デモンストレーション・実習 【到達目標】検定アートの完成（フラットアート、エンボス、3Dを組み合わせデザインする。チップ作成　【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
4	上級・フレンチ／中級・フレンチ	【授業形態】講義・デモンストレーション・実習 【到達目標】ジェルイクステンションにフレンチを施す。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
5	上級・フラワー／中級グラデーション	【授業形態】講義・デモンストレーション・実習 【到達目標】ジェルイクステンションにフラワーを施す。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
6	上級／中級　アート	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ジェルイクステンションにフレンチ、フラワーを合格レベルで仕上げる。ハンドトレーニング　【履修確認】小テスト2点（仕上がり）+課題点2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】これまでに学んできた技術を用いて合格点を取る 【履修確認】中間試験20点
8	検定級別アート復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】各自受験級のアートを復習や、受験しなかった級のアートに挑戦する。チップ作成　【履修確認】小テスト2点
9	ジェルアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデーション,カラーグラデーション相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
10	ジェルアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】縦グラデーション。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
11	ジェルアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フレンチ、逆フレンチ、ラメライン。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
12	ジェルアート④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】斜めフレンチ、シェブロン。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
13	ジェルアート⑤	【授業形態】講義・実習 【到達目標】マーブル、タイダイ応用。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
14	ジェルアート復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】今まで習った総合技術を活かしデザイン画を作成後チップ作成。 【履修確認】小テスト2点（仕上がり）
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】これまでに学んできた技術を用いて合格点を取る。 【履修確認】定期試験50点

科目名	ネイル技術Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	阿部　恵理子
		授業形態	実習			
（英）	Nail TechnologyⅢ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科NL専攻	単位	4		曜日・時間	月1・2限

講師紹介	ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容学校で講師としても活動。検定試験の内容からサロンで流行している最新のデザインまでレクチャーします。
目的 科目概要	日々新しい技術やアートが生まれていく業界で、今流行しているアートだけではなく、定番のアートや技術が必要になる難しいアートなどいろんな技術を学び、どんなデザインでもできるような力を身につける。
到達目標	様々なアート技術を学び、ネイルテクニックとデザイン力をつける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □　筆記試験　　■　実技試験　　■　作品

教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	毎回違う技術を習うので、習った技術を忘れないようにメモをとったり自宅で復習をして覚えること。
教材	ネイル道具一式、筆記用具		
特記事項	3単位まではネイリスト技能検定試験1・2級、8単位まではジェルネイル中級・上級試験の準備。9～11単位はエアブラシ、15単位はジェルの準備。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルチップオーバーレイ	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルチップオーバーレイを練習する
2	ジェルチップオーバーレイ+フレンチ	ジェルチップオーバーレイの上にカラージェルでフレンチアートをする
3	ジェルチップオーバーレイ+フラワー	ジェルチップオーバーレイの上にカラージェルでフラワーアートを描く
4	ジェルイクステンション①	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルスカルプチュアを練習する
5	ジェルイクステンション②	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルスカルプチュアを練習する
6	ジェルイクステンション③	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルスカルプチュアを練習する
7	中間試験	ジェルスカルプチュアとジェルチップオーバーレイ＋フレンチ、ジェルチップオーバーレイ+フラワーの3本を規定の時間内に作る
8	タイムトライアル	各自受験級に分かれて、タイムトライアルをする
9	エアブラシ①グラデーション	エアブラシのセッティングや片付けを覚えて、次回は1人で出来るようになる。技術ではグラデーションを覚える。
10	エアブラシ②マスキングテープ	マスキングシートのカットを覚える。テーマはラウンド。ネガティブとポジティブでアート作品をつくる
11	エアブラシ③応用編	マスキングシートのカットで花をつくる。
12	フィルイン	ジェルネイルやスカルプチュアのフィルインのしかたを学ぶ
13	マシーン・フィルイン	マシーンの使い方フィルイン後、爪の長さ削りや裏からCカーブや厚みの調節の仕方を学ぶ
14	モロッカンネイル①	幾何学模様柄、均等な線でつくった模様の繰り返し、複雑な柄の組み合わせのエスニックなネイルを学ぶ
15	モロッカンネイル②	幾何学模様柄、均等な線でつくった模様の繰り返し、複雑な柄の組み合わせのエスニックなネイルを学ぶ

科目名	ジェルネイル検定対策Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	阿部　恵理子
		授業形態	実習			
（英）	Gel nail for ExaminationⅢ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科NL専攻	単位	4		曜日・時間	水3・4限

講師紹介	ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容学校で講師としても活動。検定試験の試験官の経験を活かし生徒をジェルネイル検定合格へと導く。
目的 科目概要	ジェルネイルの技術でイクステンション（長さだし）を習得し、日本ネイリスト協会のジェルネイル検定中級と上級合格レベルの技術と知識を身につける。イクステンションの上にアートをする技術もおぼえる。
到達目標	ジェルネイル検定中級、上級合格レベルの技術と知識を身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験　■ 実技試験　■ 作品

教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後学習とその内容	毎回違う技術を習うので、習った技術を忘れないようにメモをとったり自宅で復習をして覚えること。
教材	ネイル道具一式、筆記用具		
特記事項	ジェルネイル上級はイクステンションジェル、ワイプなどの教材の消耗が激しいので、都度補充するように。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルチップオーバーレイ①	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルチップオーバーレイを練習する
2	ジェルチップオーバーレイ②	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのジェルチップオーバーレイを練習する
3	ジェルチップオーバーレイ+フレンチ	ジェルチップオーバーレイの上にカラージェルでフレンチアートをする
4	ジェルチップオーバーレイ+フラワー	ジェルチップオーバーレイの上にカラージェルでフラワーアートを描く
5	ジェルチップオーバーレイ	ジェルチップオーバーレイとジェルチップオーバーレイ+フレンチをして、2本の厚みやハイポイントなどの形を合わせる。
6	ジェルチップオーバーレイ	ジェルチップオーバーレイとジェルチップオーバーレイ+フラワーをして、2本の厚みやハイポイントなどの形を合わせる。
7	中間試験	ジェルチップオーバーレイとジェルチップオーバーレイ＋フレンチ、ジェルチップオーバーレイ+フラワーの3本を規定の時間内に作る
8	タイムトライアル①	各自受験級に分かれて、タイムトライアルをする
9	イクステンションアート①	トレーニングハンドで、ジェルイクステンションのカラーグラデーション、ラメグラデーションの練習
10	イクステンションアート②	イクステンションの上にストーンやエンボスアートをする
11	イクステンションアート③	イクステンションの上に遠近感のあるデザインをつくる
12	ジェル3Dアート	ネイルチップの上にカラージェルを塗布、アルミホイルの上で作ったジェル3Dパーツをネイルチップに乗せて固める（ドーム、蝶々）
13	ジェル3Dアート	ネイルチップの上にカラージェルを塗布、アルミホイルの上で作ったジェル3Dパーツをネイルチップに乗せて固める（リボン、レース）
14	定期試験練習	定期試験のテーマの練習
15	定期試験	トレーニングハンドにジェルでアートを施したイクステンションを5本作成する

科目名	エステティックⅣ	年次	2	実務経験	担当	(1～7週)賀川　寛子 (8～15週)塩瀬　静江
		授業形態	演習			
(英)	EstheticsⅣ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	4		曜日・時間	(1～7週)木曜日3.4限　(8～15週)木曜日3.4限

講師紹介	(1～7週)ホテルスパ、エステティック、アロマテラピーサロンで15年以上の実務経験とサロンの人材教育や運営に携わっています。専門学校では10年間の教員経験を通して、実務に活かせる専門的な知識と技術と人間力を大切にしながら、基礎を繰り返し丁寧に解説することを心がけています。 (8～15週)リフレクソロジーの書籍やDVDを出版し、20年以上、セラピストの育成に携ってきた教員が、心と身体の面からトータルにお客様の美容と健康をサポートできる最先端の感性をもつエステティシャンを目指すために必要な、知識と技術およびイメージする力の基礎を習得する方法をお伝えします。
目的 科目概要	目的：あらゆるサロン現場で共通に必要とされる「お客様のニーズ」をより深く理解する感性と、「ニーズに効果的に応えらる」施術や接客ができるようにるために必要な、知識、技術、感じる力、考える力、想像する力を養う。 概要：この科目では、エステティシャンに必要なセラピーの基本概念をタラソテラピー、カラーセラピー、アロマセラピー、リフレクソロジーなど様々な知識と実技を通してその効果や活用方法を学ぶ。
到達目標	(1～7週)SPAで利用されるタラソテラピー、ストーンマッサージなど多彩なメニューに対応することができる。 お客様のニーズに合わせて、さまざまな技術を組み合わせたメニュー提案や施術内容を組み立てることができる。 (8～15週)カラーセラピーやリフレクソロジーなどの知識や技術を用いて既存の施術効果を高めることができる。 一人一人のお客様の無言の情報である雰囲気や話し方、目線などからもニーズをつかめるようになり、より信頼される対応ができる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。(　)は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書	初めてでもできる33のリフレクソロジー(BABジャパン)　他、適宜紹介	事前事後学習とその内容	授業前後の自分の心身の変化は体験を通じて得る貴重な学びです。クラスメイトと学びをシェアし、施術に対する説明力を磨いて欲しい。 お客様ひとり1人に合った各セラピーの知識や技術を活かす方法はひとつではない。接客や施術において、根拠をもとに最良の方法を導きだす必要がある。その力を養うために、授業中は積極的な質問や意見などの発言を希望する。そして、自分なりの根拠と方法を瞬
教材	カラーペン　カラーボトル　CDプレイヤー		
特記事項			

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	SPAの概要 リラクセーションの効果と役割	スパの歴史やガイドラインを中心に概要を学ぶ。 リラクセーション効果を高めるための技術と知識を深める。
2	SPA　タラソテラピー①	海藻パックの塗布とパックアウトの手順を学ぶ。 心地よさや不快を感じるのはどのような場合なのか体験を共有して経験を深める。
3	SPA　タラソテラピー②	お客様の要望やお体に対して、効果的な海藻パックの使い方と説明ができる。
4	浮腫みとリンパドレナージュ バンデージの巻き方①	浮腫みの原因と対策を理解し、ボディトリートメントを行うことができる。
5	浮腫みとリンパドレナージュ バンデージの巻き方②	バンテージの効果と技術を学ぶことができる。 お客様の体型に合わせて適切な方法でバンテージを巻くことができる。
6	浮腫みとリンパドレナージュ バンデージの巻き方③	決められた時間内にバンデージを適切に巻くことができる。 お客様の状態について施術前と後の変化や効果を伝えることができる。
7	中間テスト	お客様に合わせてさまざまな療法を組み合わせた施術の提案が出来る これまでを振り返る。理解度を確認する。
8	カラーセラピーの基礎	カラーセラピーの考え方、歴史、活用方法を知り、カラーセラピーの絵画療法を自分自身が実践し、意識・無意識の自分の心と身体の状態を読み解きながら、体験を通して理解を深める。
9	オーラソーマ式カラーセラピー	オーラソーマ式のカラーセラピーの歴史、考え方、製品、成分、リーディング方法を学ぶ。 目に見えない色の作用について、触れて色を送る・色を感じるなどの実技を通してカラーセラピストとしての実践力を養う。
10	アロマカラーカウンセリング	色と精油と心と身体の関係を知り、アロマカラーカウンセリングの方法を学ぶ。 アロマカラーカウンセリングの実践を通して、自分の心身の状態を確認しながら理解を深める。
11	美容別サプリカラーと接客ポイント	美肌、スリミング、育毛など美容目的別にその効果を高めるカラーの使い方を知る。 相手にふれながら色を感じる・色を送る方法を学ぶ。
12	フットリフレクソロジー基礎	基本のリフレクソロジーの知識および技術を学ぶ。 足から健康状態を読むポイントを学ぶ。
13	不調別カラーリフレクソロジー	不調別リフレクソロジーの知識と技術を学ぶ。 カラーセラピーとの相乗効果について学ぶ。 足から心理的状態を読むポイントを学ぶ。
14	宝石セラピーとハンドリフレクソロジー	宝石セラピーの考え方と活用方法を学ぶ。 ハンドリフレクソロジーの方法と、宝石セラピーとの相乗効果を学ぶ。
15	フェイシャルカラーリフレクソロジー 定期試験とその準備	顔の状態から性格や健康を読み取る方法および、フェイシャルリフレクソロジーを知る。 これまでを振り返る。理解度を確認する。

科目名	エステティック理論Ⅲ	年次	1	実務経験	担当	峯崎　千恵美
		授業形態	講義			
（英）	Esthetics　Theory　Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	4		曜日・時間	金3・4限

講師紹介	CIDESCO国際資格を取得して国内外で勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がCIDESCO国際試験の理論的なカリキュラムに基づき、すべての科目の解説をし例題を解いていく。 各項目の重要ポイントを各自でまとめた後、解説を付け足して国際資格取得レベルまで教養を深める。
目的 科目概要	目的：CIDESCO国際資格筆記試験に必要な応用理論を習得する。 概要：自然科学、解剖生理学、皮膚科学、衛生管理、エステティックトリートメント、化粧品学、栄養学、職業倫理、経営学を学ぶ。
到達目標	科目ごとの要点をつかんで、例題を正確に解けるようになる。 また、幅広い理論的な知識を習得することで、自信をもって十分な説明を顧客に提供できるようになる。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■　筆記試験　　□　実技試験　　□　作品

教科書	CIDESCO国際試験受験生のための筆記試験対策ガイドライン	事前事後学習とその内容	過去に習得した内容を復習し、十分に理解した上で授業に臨むこと。また、関連する過去の資料を毎回持参する。
教材	プリント適宜配布		
特記事項	配布プリントはファイルに整理整頓し、常に確認しやすい状態にする		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自然科学	自然科学の基礎を学ぶ (物質について、科学について、イオン理論、放射線とその応用、電気学)
2	自然科学	物質の定義、物理学と化学の違い、原子構造、陽イオン・陰イオンの知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
3	自然科学	可視光線と不可視光線、電気の測定単位、交流電流と直流電流の知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
4	解剖生理学	細胞の構造とはたらき、人体の骨格系・筋系の知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
5	解剖生理学	循環器系・消化器系・呼吸器系の知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
6	解剖生理学	泌尿器系・内分泌系・神経系・生殖器系の知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
7	中間試験	1～6回までの講義の理解度を確認する
8	皮膚科学	皮膚の構造と機能、肌の分析について知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
9	皮膚科学 衛生管理	主な皮膚疾患、衛生管理の重要性、消毒方法の種類について知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
10	エステティックトリートメント	各トリートメントの目的・効果についての知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
11	化粧品学	基礎化学と乳化、主な化粧品原料の特性についての知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
12	化粧品学	スキンケア化粧品、メイクアップ化粧品、ネイル化粧品についての知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
13	美容外科一般知識 栄養学	美容外科に関する用語や効果、五大栄養素の種類と作用についての知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
14	職業倫理 経営学	エステティックにおける職業倫理、サロン経営学の知識を深める 過去問題を実施し、解説を通して知識を高める
15	定期試験	8から14回までの講義の理解度を確認する

科目名	サロンワークⅡ	年次	2	実務経験	担当	山田　優子
		授業形態	**演習**			
（英）	Salon Work Ⅱ	時間数	90	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	6		曜日・時間	火2・3・4限

講師紹介	エステティシャンとして、約20年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌作りやボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では実務を通じて、皆さんがエステティシャンとして社会で活躍する際に必要となる接客力や技術力を磨いていきます。お客様から頂く温かい叱咤激励のお言葉には多くの学びがあります。お客様により多くご満足頂けるよう、実践を繰り返し切磋琢磨していきましょう。
目的 科目概要	1年次に学んだ基礎知識と技術を基に、事前準備の大切さ、協調と協労の必要性を体感する。お客様への施術、接客を通してご満足頂ける接客力、技術力を習得する。実務を経験しながら、今より更にお客様とスタッフ、サロンにとって良いアイディアはないか常に考えられる思考を持つ。
到達目標	挨拶・気遣い・清掃・整理整頓を進んで行う事が出来る。接客マナー・チームワーク・協調性を身につける。サロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身につける。
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を 不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　　□ 実技試験　　□ 作品

教科書		事前事後 学習と その内容	実習後、サロンワークを行ってみて考えられる改善点や伸長点は次回授業までに列挙しておく。
教材			
特記事項	授業内にてスタッフ同士で決定した事や変更事項は必ずメモに残し、スタッフ全員で統一見解を持つ事。		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン《1》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
2	サロンオープン《2》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
3	サロンオープン《3》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
4	サロンオープン《4》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
5	サロンオープン《5》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
6	サロンオープン《6》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
7	中間試験	後期サロンワークの振り返り発表。次回への準備。
8	サロンオープン《7》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
9	サロンオープン《8》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
10	サロンオープン《9》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
11	サロンオープン《10》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
12	サロンオープン《11》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
13	サロンオープン《12》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
14	サロンオープン《13》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
15	期末試験	後期サロンワークの振り返り、就職へ向けて各自目標の発表。各コースの成果発表。

科目名	ボディエステⅢ	年次	1	実務経験	担当	峯崎　千恵美
		授業形態	演習			
（英）	Body Esthetics　Ⅲ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ES専攻	単位	4		曜日・時間	金1・2限
講師紹介	CIDESCO国際資格を取得して国内外で勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が、実務に活かせる専門的なボディ知識と技術を教える。各国間でのトリートメントの考え方の違いや手法を理解し、そのトリートメントに合った強さやリズム、アプローチ方法を意識していってほしい。					
目的 科目概要	目的：お客様のニーズにお応えできるよう、あらゆる分野のボディエステティックの応用知識と技術を習得する。 概要：エンダモロジーをはじめとするボディ機器や、各国のトリートメントを学ぶ。					
到達目標	トリートメントを正しく理解した上で、顧客の要望に合ったメニューを選択し結果をだす。 またどのように変わったか、モデルのトリートメント前後での違いを具体的に説明できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点Ａ（4.0）、89点～80点Ｂ（3.0）、79点～70点Ｃ（2.0）、69点～60点Ｄ（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □　筆記試験　　■　実技試験　　□　作品					
教科書	なし	事前事後学習とその内容	授業終了後から次の授業までにテクニックの復習を行い、手順を覚えてから授業に参加すること。			
教材	プリント適宜配布					
特記事項	不明な点はすぐに質問をし解決すること。					

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ロミロミ	ロミロミの基礎知識と手順を学ぶ
2	ロミロミ	ロミロミのテクニックの向上を図る
3	インド式マッサージ	インド式マッサージの基礎知識と手順を学ぶ
4	インド式マッサージ	インド式マッサージのテクニックの向上を図る
5	ストーンセラピー	ストーンセラピーの基礎知識と手順を学ぶ
6	ストーンセラピー	ストーンセラピーのテクニックの向上を図る
7	中間試験	1～6回までの演習の理解度を確認する
8	エンダモロジー G5	エンダモロジーの基礎知識と手順を学ぶ G5の技術の向上を図る
9	エンダモロジー 低周波	エンダモロジーの基礎知識と手順を学ぶ 低周波の技術の向上を図る
10	エンダモロジー サクション	エンダモロジーの基礎知識と手順を学ぶ サクションの技術の向上を図る
11	エンダモロジー ボディガルバニック	エンダモロジーの基礎知識と手順を学ぶ ガルバニックの技術の向上を図る
12	ボディトリートメント	モデルのトラブルに合わせたボディトリートメントを行う
13	ボディトリートメント	モデルのトラブルに合わせたボディトリートメントを行う
14	ボディトリートメント	モデルのトラブルに合わせたボディトリートメントを行う
15	定期試験	8から14回までの演習の理解度を確認する

科目名	クライアント実習	年次	2	実務経験	担当	小池　千絵
		授業形態	演習			
（英）	Client Training	時間数	120	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科ES専攻	単位	8		曜日・時間	月1・2・3・4限

講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がCIDESCOインターナショナルエステティシャン資格取得のために必要な判断力、集中力を高めるため1日を通して実技練習をおこないます。
目的 科目概要	今まで習得してきた技術を生かしたトリートメントができるようになり、お客様のお悩みに合わせたプランニング技術の向上をはかります
到達目標	CIDESCOインターナショナルエステティシャン資格取得
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験　■ 実技試験　□ 作品

教科書		事前事後学習とその内容	解剖生理学。機器理論、栄養学など施術に必要な知識を各自習得してください
教材	プリント（適宜）		
特記事項	授業開始チャイムの前に必ずフェイシャル、ボディのセッティングを終了すること。10回目以降（予定）の授業は各自モデルを準備してください		

授　業　計　画

回数	授業テーマ	授業内容
1	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
2	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
3	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
4	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
5	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
6	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
7	実技試験	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
8	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
9	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる
10	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う
11	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う
12	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う
13	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う
14	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う
15	実技試験	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う